

社会福祉法人 京都府社会福祉事業団



当法人では、SDGs（持続可能な開発目標）の取組みを進める一環として、今年度より「地域創生SDGs官民連携プラットフォーム」に参加しています。

Kyoto Social inclusion



全員で、ふりかえりクイズ
防災への理解が深まりました！

協力団体のみなさんへ
子ども達からお花のプレゼント

桃山学園にて防災イベント開催

ももやま大作戦～みんなでまこう！防災のタネ～

去る11月22日(土)に、桃山学園にて、地域の企業様や大学様からのご協力のもと、防災イベントを開催しました。障害児入所施設と児童養護施設の児童達が合同参加し、消火器体験やクイズなどを楽しみながら、防災に関する知識を深めることができました。この日、みんなで蒔いた防災の種を、大切に育て、大きな花や実を咲かせていきたいという桃山学園職員一同の想いを込めたイベントです。



消火器や段ボールベッド等を使ってみた子どもたち（伏見ローターアクトクラブ様ご協力）



備蓄食品と焼きそば・焼き芋が本日のランチ
新しいBBQコンロは（株）新生工業様からのご寄付です。



京都光華女子大学の学生さんが、ペープサートで防災意識の啓発をわかりやすく！



（株）ジュピター様が子ども達のために製作いただいたアプリ「防災クイズ」にチャレンジ

FUKUSHI

つながるクリエイト

～「FUKUSHIつながるクリエイト」とは、京都府社会福祉事業団が運営する各施設が、それぞれの地域の一員としてつながりを強めることや、住民の皆様へのPRを目的として、地域で開催されているさまざまなイベントに、積極的に参画していこうという取組みの名称です～



理事長から一言

地域コミュニティの希薄化が叫ばれる昨今、私たちは「地域の皆様とともに生き、ともに歩む施設づくり」を大切にしています。当法人が運営する府立施設では、児童から高齢者、障害のある方、生活に困難を抱える方など、幅広い方々に向けた福祉サービスと医療サービスを提供しております。こうした取り組みを通じて、地域の皆様にとって身近な資源として、少しでもお役に立てればと願っております。地域イベントへの参画は、私たちにとっても貴重な機会です。ふれあいの中でいただく声や笑顔から、多くの気づきと学びを得ております。これからも、皆様とのつながりを大切にしながら、より良い施設づくりに努めてまいります。

桃山学園



六地藏まつり

日 時：2025年8月24日(日)
概 要：桃山東地域で誰もが住みやすい街づくりを推進をめざす「NPO法人ももやま東」様主催。ゲームコーナーや盆踊りなど、夏祭りを楽しめるプログラム。
出展内容：ポップコーン、わたがし屋台
当日来場数：およそ400名

担当者より

令和7年度も桃山学園として六地藏まつりに参加させていただきました。当日は、終盤にあいにくのお天気となってしまい、地域の方々とテントで宿泊りにすることに。その際、ある地域の方から声を掛けていただき、ご自身が子どもの時に桃山学園へ遊びに来ておられたようで、職員の顔を覚えてくださっていたようです。懐かしい思い出とともに、地域の方々との繋がりをを感じる一コマでもありました。

東山母子生活支援施設



東山区民ふれあいひろば2025

日 時：2025年9月21日(日)
概 要：区民の東山区への愛着心を高揚し、区民相互のふれあいを深めるために開催。近隣の学校生徒のパフォーマンスや飲食ブース、子どもが楽しめる体験ブース、税金クイズ等の啓発コーナーなどを実施。
出展内容：おもちゃ遊び
当日来場数：およそ270名

担当者より

昨年度に引き続き、出展者側として施設で参加いたしました。昨年度はアイロンビーズ体験を実施しましたが、作成に時間を要するため、今回は学童保育で使用しているおもちゃで遊んでいただき、より多くの方かつ幅広い年齢層の方と交流を目的といたしました。当日は何度も来場されるお父さんがおられたり、地域のご年配の方とも交流ができました。

心身障害者福祉センター 附属リハビリテーション病院



第46回井手町文化祭

日 時：2025年11月1日(土)～2日(日) ※1日のみ出展
概 要：「自然、歴史、地域文化創造、更なる一歩」をテーマに、地域の子供たちによる舞台発表や作品展、地元食材が購入できる商工祭や農林業祭など、2日間にわたり実施。

出展内容：骨密度測定
当日来場数：およそ130名

担当者より

昨年度に引き続き骨密度測定を行いました。測定後には看護師が結果や骨粗鬆症の予防と改善などについてアドバイスを実施。椅子が足りなくなるほどの盛況ぶりから、地域の皆さんの健康意識の高さが伝わってきました。測定結果に基づき、受診の必要性が高い方々へ当院整形外科をご案内したところ、後日、早期の受診へと繋がった方が数名いらっしゃいました。

こども発達支援センター



たなフェス2025

日 時：2025年11月2日(日)
概 要：京田辺市で開催される、文化、産業、観光が集まる市民まつり。フード、ワークショップ、ゲーム、フリーマーケットなど約150店舗が出店、ステージでは約30団体のパフォーマンス披露あり。

出展内容：紙皿のコマ作り、リサイクル絵本・おもちゃのフリーマーケット、子育て相談
当日ブース来場数：およそ235名

担当者より

初めて参加するイベントであり規模も大きかったため、当日の展示・販売物の内容の選定に難しさがありました。しかし、当日はたくさんの来場者の方に来ていただき、こども発達支援センターの存在や魅力を地域の人たちに伝えられた手ごたえを得るとともに、センターの必要性を改めて感じられました。

視力障害者福祉センター



府民交流フェスタ

日 時：2025年11月3日(月・祝)
概 要：地域創生(文化創生)の一環として、府民会議の構成団体やNPO等と一緒に創り出す催しとしてきょうと地域創生府民会議主催で開催。ステージショーや、多彩な25団体によるブースコーナーを展開。

出展内容：手引き体験、点字体験、見え方体験
当日ブース来場数：およそ130名

担当者より

「一人歩きの白杖をついた全盲の方を見かけた時、何かお手伝いしたいんだけど、何と声かければよいかわからない」、「手引きの仕方を教えて欲しい」という声がありましたので、今回、府民交流フェスタでは、「手引き体験」として、声のかけ方、基本的な手引きの仕方、溝またぎ、イスにすわってもらうなどの体験をしてもらいました。参加者からは「これからは勇気を出して声を掛けてみます」と言ってくださいました。

心身障害者福祉センター 障害者支援施設



第35回城陽福祉ふれあいまつり

日 時：2025年11月13日(木)～15日(土)
概 要：城陽市の福祉関係団体の参画で開催。様々な福祉活動にふれていただく機会として、ボランティア団体や福祉施設などのポスター展示のほか、福祉に関する相談、体験ブース、ステージ発表などを実施。

出展内容：(常設)ポスター展示、(14日のみ)介護用リフト体験、相談ブース
体験ブース来場数：およそ40名

担当者より

毎年、参加しております地域のふれあいまつりを通じてたくさんの方とふれあうことで様々なお話をすることができました。また、当施設で使用しているリフターなどの福祉機器も体験して頂き、福祉への関心も持っていただく機会となったのではないかと思います。これからも、たくさんの方と『ふれあう』センターでありたいと考えております。

心身障害者福祉センター
附属リハビリテーション病院

視力障害者
福祉センター



ヘルス博KYOTO2025

日時：2025年11月26日(水)
概要：企業、大学、行政等の健康づくりに関する先駆的で効果的な取り組みの共有を通し、相互にノウハウを吸収し、健康寿命の延伸に関する知見を高め、取り組みを推進することを目的として開催。ブース展示のほか府知事や著名人によるトークショーなどの企画あり。
出展内容：(リハ病院) 歯周病リスクチェック、(視力) プチツボ講座、あん摩マッサージ施術体験
当日来場数：およそ225名(延べ人数)

担当者より

今年は出展内容を一新し、附属リハビリテーション病院と視力障害者福祉センターのコラボ企画となりました。歯周病リスクチェック、マッサージ体験とにもすぐに予約枠が満杯になるほど大盛況でした。事業団職員の歯科医師、歯科衛生士、看護師、あん摩マッサージ指圧科の教員など専門職が参加し、イベントの目的である「府民のみなさまの健康長寿の推進」そして「企業・大学・行政などが連携して先進的な健康づくりの取り組みを交流」に貢献しました。

視力障害者福祉センター



左京区民ふれあいまつり2025

日時：2025年11月30日(日)
概要：左京区の魅力を再発見し、多世代交流を深める目的で開催。今回は「防災・減災」を重点テーマに、互いに地域課題への取り組みを知り、つながりを深める場とするとともに、子どもと一緒に楽しめる催しが実施。
出展内容：手引き体験、防災訓練展示パネル
来場数：およそ160名

担当者より

左京区民ふれあいまつりをはじめ、様々なイベントに参加させていただき、当センターが視覚に障害のある人の社会参加を支える役割を担っていることを伝えられたと感じています。視力センターでは、今後も、地域の方に向けた健康講座、臨床実習、あん摩奉仕、まつりへの参加などを通じて、地域との交流や福祉理解の促進に力を入れ、視覚障害者の方が住みやすい環境づくりを推進していきます。

健康講座

概要：ノーザンライツコーポレーション様、京都府民総合交流事業団様との共催にて、健康にかかわる講座を実施。

心身障害者福祉センター 附属リハビリテーション病院

第1回健康講座

日時：2025年10月25日(土)
内容：講義、アートセラピー「コラージュ」体験



担当者より

コラージュは、雑誌や写真、カタログなどを自由に切り貼りして作品を作るアートセラピーの一つです。有賀精神科医師による「メンタルヘルスとストレス」に関する講義の後は、芸術の秋！実際にコラージュを体験していただきました。「無心で集中できてストレスを忘れ、初めての体験で、とても新鮮で楽しかった」など、ご好評の声をいただきました。

視力障害者福祉センター

第2回健康講座

日時：2025年12月21日(日)
内容：講義、ツボ活用法



担当者より

今回の健康講座では、内閣府が実施した健康意識調査に基づく「気になる身体症状」に対するセルフケアとしてのツボの活用法について、参加者全員に対し実際にツボを取りながらご紹介させていただきました。また、視力障害者福祉センターの紹介に加え、江戸時代から続く、視覚障害者によるあん摩・はり施術の歴史についてもご紹介しました。

その他

- 10月5日 おとこのわいわい日曜塾(心障リハ病院)
- 11月29日 南陵町健康サロン健やか(心障リハ病院)
- 12月11日 北部コミュニティセンター高齢者健康講座(心障リハ病院)
- 12月14日 第5回うーちゃフェスタ(心障リハ病院)

今後の予定

- 1月31日 学んで歌って健康に！(心障リハ病院)
- 3月7日 第10回社会福祉センターふれあいまつり(洛南寮・こども発達支援センター)
- 未定 第3回健康講座

KSJ NEWS

ふらっとカフェを開催



生活訓練事業所 ひまわり

高次脳機能障害のある利用者のご家族、地域の方も一緒に交流しました。

Instagram で発信中



桃山学園 障害児入所施設

各フロアの様子を日記のようにInstagramで発信しています！

あん摩出張しました



視力障害者福祉センター

2年生が所外あん摩臨床実習として洛南寮に赴き、あん摩施術を行いました。

きょうと妊娠SOS事業 きょうと妊娠から子育てでSNS相談事業

LINEでのご相談が たくさん寄せられています！



京都三条ラジオカフェにて「まちづくり
ちょびっと推進室」に出演！
妊娠・子育て相談センターや府市連携公開
講座のPRを行いました。

京都府・京都市連携で開設された2つの相談事業を受託し、半年が経過しました。これまでに京都府全域から寄せられた相談件数は、1,089件です。(令和7年12月末現在)
お子さんの育児に関してちょっと聞いてみたい内容や、誰にも打ち明けられない深刻な悩みなど様々なご相談がLINEで寄せられています。
法人内の保健師・助産師・公認心理師・社会福祉士・保育士からなる相談員が、多職種ならではのチーム力を発揮しています。定例で開催するカンファレンスには、法人内のベテラン職員にスーパーバイズしていただくなどして、相談支援の質の向上に努めています。

SNS相談事業の一環として 「府市連携公開講座」を 4回シリーズで開催中



「ふくし未来塾」に初参加！

主催：社会福祉法人
全国社会福祉協議会

「ふくし未来塾」は、次世代の社会福祉法人の経営人財育成を見据え、社会福祉実践の理論と実学、倫理的価値観の形成や人間力の育成を理念に、スクーリングやオンライン、論文作成を通じて、1年かけて学ぶ講座です。今年度4月～事務局の西村総括主任が初めて参加しています。

今回は、京都が「学生のまち」と言われていることに着目し、学生生活（卒業）後も住み続けたいと思えるまちであるように、また学生が困った時に頼れる居場所等のあり方をテーマに論文作成準備中です。



第58回全国社会福祉事業団大会にて 発表しました

開催日時：2025年11月13日～14日

会場：沖縄ハーバービューホテル

テーマ：ICTツールの併用によるチーム力アップをめざして
～生産性向上奮闘記～

沖縄県で開催された全国社会福祉事業団大会の分科会にて、洛南寮の瀬尾寮長が発表をしました。ICT化の推進として、新たな支援記録システムやインカム等の導入を進め、試行錯誤を重ねながら生産性向上をめざす取組状況を紹介しました。



質疑応答では、支援記録システム移行時のポイントや、法人内で活用しているグループウェアの併用に関する質問が寄せられ、同じ課題を抱える他法人とも情報交換を行い、ともに学び合う時間となりました。



人材育成

福祉課題が複雑化する中、職員に求められる役割は多様化し、それを担う職員も地域課題への対応や質の高い支援が求められています。当法人では、今日的課題に対応できる職員育成を図っています。

車椅子操作研修

基礎的な専門性やスキルを学ぶ機会として、今年度の専門性向上研修は車椅子操作をテーマに研修を実施しました。基本的な操作を学ぶ「ビギナーズ版」と、操作指導ができる知識とスキルの獲得を目指す「エキスパート版」の2コースに分かれて実施。法人の岡本スポーツ推進員より、車椅子の基本構造について講義いただいた後、実際に乗る側・介助する側の両方を体験しながら、操作時の正しい体の使い方や、安心・安全な操作方法など、基本から応用まで幅広く実技指導いただきました。



一定の操作はできているつもりでしたが、声かけや段差の対応など、基本を学び直すことができました。

階層別研修

各階層で求められる能力や役割の理解を深め、組織力の強化とサービスの質の向上につなげるため、階層ごとの集合研修を実施しています。今年度は、チェックシートを用いて自身の階層におけるキャリアパスを再確認し、テーマに沿った講義とグループワークを実施。日々の業務の悩みや課題も交えながら、活発な意見交換が行われました。また、初の試みとして「理事長との座談会」を開催。業務への想いや今後の組織運営に対する意見など、職員から率直で多様な声が寄せられ、より良い職場づくりに繋がる貴重な機会となりました。

階層	初期層	前期中堅層	後期中堅層	熟達層
テーマ	よりよいチームワークを形成するために	リーダーシップを発揮するために	指導力・育成力の強化のために	クレーム対応の強化のために



初めての理事長との座談会



指導層 他法人の施設との意見交換も！

みねやま福祉会様のご協力のもと、宮津市にある障害・高齢・児童分野の施設が一体となった複合施設「Ma・Roots (マ・ルート)」にて研修を実施しました。榎田理事長からは、地域の高齢化が進む中での法人の将来像や、多様な施設が一体にあるメリット、課題解決に向けて地域と連携した取組み等についてご講義いただきました。施設見学のほか、両法人の職員でのグループ討論を行い、これからの社会福祉法人の在り方について意見を交わしました。リードしていく立場の職員として、多くの気づきと学びを得る貴重な研修となりました。

職員のチャレンジを応援

テーマ募集

調査研究活動

法人全体で発表

実践・研究発表会

事業化の実現

今後の取組みへ検討

当法人では、利用者満足度の向上につながる調査研究活動を応援するため、令和5年度から「職員チャレンジ研究支援事業」を実施しています。各施設から募集・選考したチャレンジテーマに対して法人が経費を支援し、職員は施設内で研究や調査を進めながら、課題や工夫を学び、活動を深めています。成果は法人全体で行う「実践・研究発表会」で発表され、次年度事業にも反映されます。こうした取り組みによって、職員の自主性や積極性を育むとともに、施設のチーム力や法人の組織力も高めることを目指しています。



今年度の実践研究発表会は2月3日に開催予定です。

表彰

チャレンジ研究で取り組んだ取組みを、全国社会福祉事業団協議会の実践報告・実務研究論文に提出し、今年度は心身障害者福祉センターひまわりの論文が佳作として表彰されました。



人事交流インタビュー

令和5年4月から、若手の職員を対象とした他法人との人事交流（1年間）がスタートし、3年目を迎えました。交流先は、京都・大阪を拠点に幅広い種別の福祉事務所を運営されている「社会福祉法人南山城学園」様です。今回派遣中の職員の声、また上司の皆様の声をご紹介します。

取組みの目的

1 交流先で得た新しい経験やアイデアを自法人の改善改革の参考にする

2 派遣職員自身が培ったコミュニケーション力によって、新しいネットワークの構築をはかる

3 他法人で働いた職員の視野が広がることによる、自身のスキルアップ

京都府社会福祉事業団

▶ 南山城学園



平野さん

Q. 交流先に慣れるのは大変でしたか

A. 桃山学園と比べて利用者の人数が多く、薬やリハビリ内容なども一人ひとり異なるため、最初は覚えることが多く、大変でした。周りの職員さんから「落ち着いてやってくれたら大丈夫だよ」と声をかけていただき、少しずつ業務に慣れていくことができました。誤薬のヒヤリハットなども職場全体で共有しており、日々緊張感を持って対応しながらも、周りのサポートに支えられています。

Q. 人事交流中の印象的なエピソードを教えてください

A. 和光祭（施設イベント）が雨天で中止になった際、出展予定だったよさこい学生サークルの皆さんが、各施設を順番に回って踊りを披露してくれました。利用者の皆さんは笑顔にあふれ、踊りに合わせて体を動かす方もおられました。楽しんでおられる様子が印象的で、雨天中止がむしろ良かったと思うほど心に残る時間でした。施設と地域の大学生とのつながりも改めて感じることができました。

Q. もうすぐ人事交流が終わりますが、自法人でどのように活かせそうですか。

A. 対象者の違いはありますが、桃山学園にいた頃は、卒園後や次のステップを意識するあまり「今これできてほしい」という思いから、注意する場面も多かったです。南山城学園では、利用者さんの気持ちやペースを大切にしながら対応される職員の姿も多く目にし、大きな気づきとなりました。言動だけにとらわれず、一人ひとりの想いやタイミングに寄り添う視点を大切にしたいです。

【交流先】

障害者支援施設 輝（かがやき）

高齢期を迎えた方や介護が必要になられた方を対象に、現在の生活が継続できるよう支援し、日々の暮らしにおける「自分らしさ」を大切にしたい生活の構築を目指す施設

！上司から一言！



現在は、こども食堂の取組みを頑張ってください。和光祭はあいにく雨天のため中止となりましたが、桃山学園のお子さんにもイベントへ出演していただく予定だったこともあり、平野さんには法人間のつなぎ役として調整をしていただきました。また、日頃より他の職員からも「元気ハツラツで良い！」と評判です。

Q. 人事交流の話が来た時はどう思いましたか？

A. 南山城学園でのキャリアアップを目指していたタイミングでお話をいただきました。まさか自分が選ばれるとは思っておらず、そのような道もあるのかと驚きました。初めての異動で不安もありましたが、他法人で働くのは滅多にない貴重な機会だと思いました。また、成人支援を中心に行っている南山城学園にとって、児童支援は今後広がっていく分野でもあるため、学びが広がるチャンスだとポジティブな気持ちで受け止めました。

Q. 桃山学園の印象をお聞かせください。

A. 利用されるお子さんのニーズがとても多様だと感じています。成人施設では、障害の程度や特性に応じて利用施設が分かれています。桃山学園では幅広いお子さんが同じ施設で生活されており、その点に驚きました。また、先輩職員から「あそぶのが仕事」と聞いた時は、成人施設にはない視点で印象的でした。実際に一緒に遊ぶ中で、お子さんたちが譲り合いやコミュニケーションを通して対人関係を築いていることに気づきました。

Q. 南山城学園での経験が活かしたエピソードを教えてください。

A. 昨年度まで、強度行動障害のある利用者の方の支援を担当しており、関わる時の視点や工夫は桃山学園でも活かしていると感じます。経験の浅い職員から対応について相談された際もアドバイスができ、自分の経験が役に立っていると実感しました。また、保護者対応では、卒園後の進路を不安に感じられる方に、南山城学園をはじめ、卒園後に利用できるサービスや施設を説明しました。

南山城学園

▶ 京都府社会福祉事業団



森さん

【交流先】

障害児入所施設 桃山学園

知的に障害がある18歳までの児童に対し、健やかな成長と家庭復帰・社会的自立を目指し、障害特性に応じた専門的な支援を行う施設

！上司から一言！

早い段階で桃山学園の業務に馴染まれたように記憶しております。業務の中では、常に平穏を保ち、様々な児童の姿を大きな器で受け止めておられました。児童への支援が初めてのことでしたが、素敵な笑顔を見せてくださることが多かったです。南山城学園で得られたスキルや視点等を職員に助言していただき、桃山学園の一職員として力を注いできたこともあり、頼もしい存在です。



KSJふれあいの会(OB会)を開催しました

去る10月18日(土)、京湯元ハトヤ瑞鳳閣にてOBの皆様と現役職員の交流を深める「KSJふれあいの会」を開催いたしました。今回で30回目の開催となり、京都府からの来賓を含め総勢43名の方々にご参加いただきました。会場は大いに盛り上がり、思いつきや近況報告に花が咲きました。施設長出題のオリジナルクイズにもご参加いただき、なごやかな雰囲気の中、盛会のうちに終了いたしました。

また、世話人のメンバーは変更ありませんが、代表を錦田明夫様から中澤厚子様へバトンを引き継がれました。2年後に迫る法人の50周年に向け、引き続きOBの皆様と協力して盛り上げていきます。



KSJ掲示板

子育て応援セミナーを開催！

きょうと妊娠から子育てSNS相談事業では、府市連携公開講座を実施しております。来る2月11日(水・祝)には、4回シリーズ最終回を開催いたします。“子どもとの関わり方”について迷いや困り感をお持ちの方は、ぜひご参加ください！

2月11日(水・祝) 14:00~16:00

「その子らしい成長を支えるための理解と支援

～発達特性のあるお子さんの自己肯定感を高めるかかわり～」

講師：京都府立子ども発達支援センター 平井 清所長、酒井 謙輔公認心理師

[開催済みセミナー]

12月13日(土) 子育て応援セミナー

「親ってむずかしい？～パパもママもゆっくりはぐくむ親性脳～」

講師：明和 政子教授(京都大学大学院教育学研究科)

1月11日(日) 妊活応援セミナー

「パートナーと支え向き合う妊活・不妊治療～心理カウンセリングの現場から～」

講師：生殖心理カウンセラー 垂水 みなと氏

(京都府立医科大学附属病院精神科・足立病院生殖医療センター)

1月11日(日) グリーフケアセミナー

「亡くなくても大切ないのち～おなかの中の赤ちゃんを亡くした方へ～」

講師：子どもを亡くした家族の会「ちいさないのち」代表 坂下 裕子氏



ハイブリッド開催
申込は2月8日まで

病院のホームページを
リニューアルしました！



法人ホームページでは一体感のあるデザインを活かしつつ、各施設ページにて個々の特色が伝わるよう内容の充実を図っています。

この度、リハビリテーション病院ページをリニューアルしました！

地域に開かれた病院として、さらに情報にアクセスしやすいよう、診療科や担当医師の紹介をはじめ、外来受付・面会時間、アクセス案内などをより分かりやすく掲載しています。トップページには院長自作のイラストを用い、病院の温かみのある雰囲気も感じていただけますので、ぜひ新しいサイトをご覧ください！

福祉・医療のお悩みがあれば
ご相談ください

障害・高齢・児童・生活保護・医療機関など様々な府立施設を運営する当法人の専門性を活かした、ワンストップの相談窓口を設置しています。

介護、医療、生活への不安について、お気軽にご相談ください。

福祉・医療総合相談センター

〒610-0113 京都府城陽市中芦原
京都府立心身障害者福祉センター内

🕒 平日 9:00~17:00

☎ 0774-54-3037

✉ sougousoudan@ksj.or.jp